

## ■内容

- ・ 中国情報
- ・ インドの石炭輸入は 2017 年には 1.85 億トンに達する
- ・ 経済成長率が下方修正される見通し(インド)
- ・ モンスーンが来ても電力危機は依然として解消されず(インド)
- ・ インドネシアの石炭生産者、価格の上昇を期待してストックする傾向
- ・ ベトナム、2012 年の上期(1月～6月)の石炭消費状況
- ・ 豪州 CO2CRC が 20 ドル/トン以下の新しい CO<sub>2</sub> 回収システムを開発
- ・ Cloud Peak Energy が Northern Powder River Basin の鉱区獲得(北米)
- ・ 米国の石炭火力発電量とガス火力発電量は今や同等
- ・ 米国鉄道輸送統計 2012 年上半期

## ■中国情報

### 中国:石炭資源埋蔵量が600億トン増

7月16日、中国国土資源部によると、今年中国鉱物資源の探査により、石炭資源埋蔵量が600億トン以上の増加となった。

今年度上半期、中国の多くの地域で行われた鉱物資源探査により、既存の鉱物資源に加え、新たに鉄鉱石資源が18億トン、ボーキサイトが2,000万トン増えた。石油・ガス資源の地質調査への投入は約380億元で、前年同期比で6.4%増加し、非石油・ガスの地質調査予算額は200億元で、ほぼ昨年と横這いになっている。

2012年7月17日付け「中国新聞網」記事

### 中国:「独占化」に向かっている石炭産業

7月13日より、新しい「石炭鉱区全体企画管理暫定規定」が実施段階に移行した。政府が石炭産業「業界入り条件」を引き上げ、更に管理を強化することに取り組んでいる。それによって、石炭産業が一層集約化される方向となり、新たな「独占化」に向かっているのではないかというのが多くのアナリストの見方である。

#### ・石炭鉱区への管理の強化

新しい規定により、炭鉱生産規模の審査基準について、2004年の年産200万トンに対して、300万トン以上に格上げしている。それは中国の炭鉱規模が大きくなっているため、200万トン以下の炭鉱は「小規模」炭鉱になるからである。炭鉱規模の審査基準の格上げにより、多くの小規模炭鉱が淘汰されると予想されている。これは国の業界への管理が強まるということも意味している。

#### ・開発基準の引き上げ

鉱区の開発も、2004年と比べ、審査の主体が現在の「A級」石炭エンジニアコンサル資格を持つ組織に限定され、さらに鉱区の精査面積に対する特別規定も定められている(鉱区石炭埋蔵面積の60%以上)。また、開発企画の審査内容について、「鉱区環境保護、水と土壌の維持、省エネ、洪水防止」等7項目が新たに追加された。国の環境重視の政策により、石炭産業が環境への配慮を更に求められている。

#### ・石炭の独占化

石炭産業の発展に伴い、大型企業の成長ぶりが顕著で、近い将来、中国の石炭業界は、十数社の石炭メジャーが「群雄並立」局面を迎えるだろうと専門家が語っている。いずれ独占化になる石炭産業だが、中国の石炭資源が分散しているため、地方優位性を発揮しながら、十数社のメジャーが相互競争しながら、国際市場での競争力も増すと見込まれている。

2012 年 7 月 17 日付 「北京商報」記事

#### ■インドの石炭輸入は 2017 年には 1.85 億トンに達する

インド計画委員会によれば、インドの石炭輸入量は 2017 年には 1.85 億トンに達し、需給の逼迫化が見込まれる世界の固形燃料市場においてインドが 20%のシェアを占める可能性がある。計画委員会が作成した 12 次エネルギー発展計画の草案において、第 11 次国家発展計画(2007-2012)末での計画輸入量 1.37 億トンに対し、2017 年には 1.85 億トンと増加、国内炭の生産拡大対策が喫緊課題と警告されている。国内石炭供給が年率 7.5%で拡大できない場合には必要な輸入量は更に増加する。しかし国際的な石炭市場は 9~10 億トンの規模であることに留意する必要がある、ハードコールの世界全体消費量も 60 億トンを超す程度である。更に草案は気候変動に対する懸念から石炭利用に関して将来的に制約を受ける可能性を指摘している。また豪州やインドネシア等の複数の石炭生産国においては資源に対する課税強化が予想されるため、国際石炭価格は上向き圧力がかかることが見込まれる。第 11 次発展計画の石炭需要は 8%で増加した半面、国内炭生産は 4.61%の増産に留まった。国営石炭公社(CIL)2012/13 年の生産目標を 4.64 億トンとしたことを 7 月に発表したが、CIL は 2011/12 年度の実績は目標の 4.47 億トンに対し 4 億 3,584 万トンの生産実績であった。

沿岸区域の発電所では必要量の 30%を輸入炭利用とするが、沿岸部から 300km までの内陸部に位置する発電所は輸入炭を必要量の 15%使用する。その他の発電所は国内炭利用 100%となる。輸入炭の増加は沿岸部の発電所の発電コストを増加させるが、輸入炭は CIL により供給される国内炭価格の 2 倍に相当するためである。

The Economic Times, July 16-23, 2012

注:インド石炭公社は世界最大の石炭生産企業で 471 炭鉱を保有している。国内第二位の生産企業は Singareni Collieries Company Limited(SCCL)で、2011/12 年度の実績は 5,220 万トンに対し 5,221 万トンの実績で、2012/13 年度は 5,580 万トンを目指している。SCCL は坑内掘 35 と露天採掘 15 炭鉱を操業しており、従業員数は 66,000 人。因みに BP 統計によればインドの 2011 年(暦年)生産量は 5 億 8,874 万トンであった。

JCOAL 国際部 古川 博文

#### ■経済成長率が下方修正される見通し

インドでは 2012 年度に入り景気の減速が頻繁に聞かれるようになったが、以下、最近の関連記事を紹介する。

#### 「8%の成長は神から与えられたものではない」:Montek Singh Ahluwalia 国家計画委員会副議長

12 次 5 カ年計画期間(2012~2017 年)中の平均成長率目標は当初計画では毎年 9~9.5%としていたが、その目標達成は大変難しくなったと、Montek Singh Ahluwalia 計画委員会副議長が述べている。ま

た同氏は 12 次期間の年次平均成長率の修正目標として 1 ポイント下方修正して 8~8.5%とする見通しであるとした。

「9%は大変難しい。8~8.5%が現実的と思う。ただしこれも現在の世界的な経済不況の中においては簡単に達成できる値ではない。我々の多大な努力の結果達成できるもので、神から与えられた権利ではない。」と同氏は語っている。

下方修正は今後計画委員会内において議論されるとしており、昨年度の世界経済の急速な減速のため、12次計画初年度となる2012年度の成長率は6.5~7%と見込まれている。同氏はまた、貧困層を10%削減して、12次計画最終年度の2017年度人口の20%以下とすることも述べた。

Times of India 7月7日付

### IMF はインドの 2012 年の経済成長率を 6.1%と予測

国際通貨基金(IMF)は16日(月)、インドの2012年成長予測を世界経済の減速に伴い6.1%に下方修正すると発表した。最新の世界経済予測では2013年の成長予測も6.5%としており、4月時点での予測値である2012年-6.8%、2013年-7.2%からも修正したことになる。

「直前3カ月の世界経済の回復は弱く、ユーロ圏における金融市場や国債のストレスも2011年末レベルまで上がってきており、関連市場の成長は予測を下回っている」とIMFは最新報告で述べている。

Times of India 7月17日付  
JCOAL 情報センター 村上 一幸

### ■モンスーンが来ても電力危機は依然として解消されず

—計画性の欠如とモンスーン到来遅れで電力不足は続くが、政府は認めようとしな—

As long as 18-hour power cuts triggered outrage as people took to the streets. Roads were blocked, power stations attacked and their staff were beaten up across the National Capital Region. HT PHOTO

**POWERLESS IN THE CAPITAL** Want to know why you are facing 8-15 hours of power cuts? Read on

写真 道路封鎖で停電に抗議する市民

デリー、グルガオン、ファリダバッド、ノイダ等の首都周辺地域(National Capital Region、NCR)への電

力不足緩和として期待されていたモンスーン到来の遅れと相まって、これら地区での深刻な電力不足が依然続いている。

Hindustantimes 紙が電力省 Sushil Kumar Shinde 大臣に電話取材したが、政府はこの状況にもかかわらず、「(ノイダのある) Uttar Pradesh 州の電力は確かに不足しているが、問題となる程ではない」と一向に改善する姿勢が見られなかった。

先週ノイダ、グルガオン、ファリダバッドの多くの地域で一日 8~15 時間の停電があった。電力不足量は容量で 400MW であり、電力供給量が需要量より 15~20%下回っていた。この停電状態は、本来供給が足りているはずのデリー市内の一部でも起こっていた。

停電の最大原因は、配電会社 (BSES Rajdhani Power、BSES Yamuna Power、Tata Power Delhi Distribution) 及びデリー市、Haryana 州政府、Uttar Pradesh 州政府の電力需要見通しが甘かったためと見られている。他にも、モンスーン到来遅れによる水力発電容量の低下、石炭火力への石炭供給量不足、同地区の交流電力需要の急速増加などが挙げられている。今年の Delhi 市の最大需要は 5,642MW にまで達したが、一方で供給は 5,500MW であった。同じような需給ギャップ状況がグルガオン、ノイダ、ファリダバッドでも起こっている(下表)。

	最大電力	供給電力	不足
デリー	5,500MW	5,500MW	0
グルガオン	850MW	640MW	210MW
ノイダ	800MW	750MW	50MW
ファリダバッド	600MW	460MW	140MW

結果的にこれら地区では市民生活や産業界に大きな影響を及ぼしている。バックアップ電源を備えている高級住宅街でさえも度重なる停電でバックアップ機能がダウンする例も出始めている。ファリダバッド商工会の Rajive Chawla 氏によれば、「我々は毎日 12~17 時間の不定期な停電に悩まされている。バックアップ電源は恒常的に運転するものではないが、今はそれを余儀なくされている。」とのこと。それに対し政府は、この状況は後 2 週間くらいで解消されるとする姿勢を崩していない。専門家はこの政府見解に対しこの数日まとまった降雨が無ければ状況はさらに悪化するだろうと警告している。

Hindustan Times 2012 年 7 月 9 日付  
(本記事の後 NCR もモンスーンとなり最悪状況は脱しているが、依然停電は頻発している)

JCOAL 情報センター 村上 一幸

## ■インドネシアの石炭生産者、価格の上昇を期待してストックする傾向

マーケットの情報筋によると、インドネシアの石炭生産者は現状の低価格に不満を持っており、今後上昇することに期待して来月のラマダンまではストックする傾向にあるようだ。Platts の評価では Kalimantan 5,900 kcal/kg (GAR) の FOB 価格が \$71.30/mt、Kalimantan 5,000 kcal/kg (GAR) の FOB 価格が \$55/mt である。また、Kalimantan 4,200 kcal/kg (GAR) の価格は \$39.20/mt で、一日に 10 セント減少している。ラマダン中はほとんどの炭鉱が 2 週間程運転しないため生産量へ与えるインパクトは大きい。

トレーダーによると、インドネシアの生産者はインデックスにリンクした価格かそれ以上で取引ができる

国内市場へより目を向けているという。しかし、ラマダン中従業員へ手当を払わなければいけないため、今月のような低い価格でも石炭を輸出しなければならないというのが現状である。

しかしながら、生産者は価格を下げないだろうという意見もある。例えば、3,800 kcal/kg (GAR)を \$33/mt で買おうとしたが、価格の低さで生産者が拒否しているという。インドネシアの生産者は以前よりも高いレベルの価格を望み、低価格で販売することを渋っていると言える。

出典:Platts/International Coal Report July 23, 2012

JCOAL 情報センター 岡部 修平

### ■ベトナム、2012 年の上期（1 月～6 月）の石炭消費状況

今年度上期の 6 ヶ月間で石炭総消費量は 1,970 万トンに達した。これは年間計画の 43%を占め、2011 年同期実績より 13%の減少となる。その内、国内消費量は 1,280 万トンで年間計画の 41%にとどまり、前年同期実績より 12%減少となる。2012 年の総消費量は 2,600 万～2,700 万トンの見通しで、計画より 400 万～500 万トン減と見込まれる。

一方で世界の石炭供給量は需要量よりやや多くなって輸出国間で激しい競争状況であり、2011 年と比べ国際市場における石炭価格が 25～40%安くなった。2012 年の半年で VINACOMIN は 690 万トンを出し、2011 年同期実績より 15%下回り、年間計画の 47%となった。輸出実績の内、最初の 5 ヶ月間は平均月間 150 万トンを出していたものの、6 月は 100 万トンとなり、7 月では 15 日まで 25 万トンしか輸出できなかった。現在、新しい輸出取引がない状況である。同グループによると、輸出量が減少した理由は、ベトナムの石炭輸出税が 20%であることに比べ、インドネシア等他の石炭輸出国のそれは 0%であり、VINACOMIN の競争力が劣っているためである。

現在 VINACOMIN の在庫量は今年の初めより 370 万トン増加して 850 万トンとなった。従って、上期 6 ヶ月の石炭の売上高は前年同期比 9%減少し 28.1 兆ドン(約 1,081 億円)、年間計画の 42%にとどまった。石炭の売上高を上昇させる要素として 7 月 1 日からの国内発電用石炭価格の値上げが期待されている。しかし 10～11.5%を値上げしても売上増加は約 3000 億ドン(約 11.5 億円)しか見込めない。ちなみに発電用石炭の値上げ前の計画では、2012 年は発電用石炭の総売上は石炭の生産コストより 8 兆 500 億ドン(約 327 億円)のコスト割れと予測している。

たとえ発電用石炭価格を上げても VINACOMIN は発電産業へ約 8 兆ドン(約 308 億円)程度の赤字を埋めなければならない。前年度までの場合、石炭の輸出により発電用石炭の赤字が埋められたが、2012 年は輸出の総売上高が 4 兆ドン減少すると予測されるので、発電向け売上げの赤字を埋める財源がなくなると見られている。その他にも環境税の借金の利子がコストに付加され、2012 年の生産コストに少なくとも 2 兆 2,000 億ドン分の負担増となる。

上記の状況で 2012 年、VINACOMIN は利益がないと見通している。以前、VINACOMIN は石炭の輸出税を 20%から 0%に減税することを政府に申請したが拒否された。今回は 20%から 10%に減税することを改めて申請している。発電用石炭価格は電気料金の値上げ計画と共に値上げすべきであるとの主張については首相が同意した。まずは既存炭鉱を改造・拡大する財源を確保するために発電用石炭価格は生産コストを下回らないように調整すると述べた。

**参照:**VINACOMIN の 2012 年の石炭生産量(精炭)は約 4,500 万トン(原炭は約 4,850 万トン)であり、販売量は約 4,500 万トンである。その内、国内消費量が 3,150 万トンで、輸出量が 1,350 万トンを計画している。

JCOAL 国際部 レ スアン サン

### ■豪州 CO2CRC が 20 ドル/トン以下の新しい CO<sub>2</sub>回収システムを開発

炭酸水素ナトリウムに類似する吸収剤が新しい CO<sub>2</sub>回収技術の主役であり、従来の CO<sub>2</sub>回収技術に比べて安く、20ドル/トン以下で発電所から CO<sub>2</sub>を回収できる。このシステムは UNO MK3 と呼ばれ、豪州の CO2CRC(Cooperative Research Centre for Greenhouse Gas Technologies)が開発した技術で、これまでの技術に比べてコストを大幅に削減できる。

CO2CRC における CO<sub>2</sub>回収の研究開発は、3つの観点から全体システムの改良がなされた。それらは、吸収剤の分離、適切な装置化及び発電所の運転との統合である。まず第一に、炭酸水素ナトリウムに類似する吸収剤を使うことにより、必要なエネルギーの 20%を削減した。沈殿プロセスにおいて、NO<sub>x</sub> 及び SO<sub>x</sub>を除去する必要がないので、その分コストが削減でき、さらに副産物は肥料の製造に使うことができる。「カリウム炭酸塩はアミンと比べて、環境への影響は少ない安定した物質である。」と、CO2CRC の技術主任の Barry Hooper 氏が語った。

CO2CRC が設計した装置は、コストが大幅に削減できる。例えば、濃縮分離管をコンクリートにすることができ、通常のステンレス管より小さくかつ安くできる。

三つ目は、加熱と処理プロセスの統合である。発電所に回収プロセスを統合することによって、CO2CRC プロセスではシステムのエネルギー消費を 25%削減できた。

「UNO MK3 は現在ラボスケールとパイロットスケールで試験をしており、フルスケールの実証試験も計画している。このプロセスをプレ及びポストコンバッション、あるいは天然ガスコンバインドサイクルに適用すれば、地球温暖化ガスを大幅に削減できる。」と、また、「CO2CRC の研究プログラムの目標は、従来技術に比べて回収コストを 50~70%減らすことであり、この UNO MK3 はほぼ達成できている。」と、Hooper 氏は語った。

UNO MK3 は、連邦政府のサポートも受けている。また、本技術は、2012 年 6 月 6 日、第 37 回クリアウオーター Clean Coal and Fuel Systems 国際会議で発表された。

(2012 年 6 月 6 日付 CRC for Greenhouse Gas Technologies の Media Release より)

JCOAL 情報センター 原田道昭

### ■Cloud Peak Energy が Northern Powder River Basin の鉱区獲得

Cloud Peak Energy Inc.は、US\$3 億で Youngs Creek の鉱区等を獲得した。Youngs Creek は Chevron USA Inc.と CONSOL Energy Inc.の JV であり、Wyoming、Montana 州の Powder River 炭田の露天掘採掘プロジェクトサイトである。Cloud Peak 社は「Youngs Creek は太平洋側からの石炭輸出能力増強に資するものである」と述べている。Youngs Creek は Wyoming 州 Sheridan から 21km の北部 Powder River 炭田にあり、現在 Cloud Peak 社が操業している Spring Creek 炭鉱の 11km 南、BNSF 鉄道から 11km に位置する。

Cloud Peak 社 CEO の Colin Marshall 氏は「港の容量が増強されればアジア向け輸出が増加し業績も向上する」と述べている。Youngs Creek 炭の炭質は Spring Creek 炭と似ており、Powder River 炭の問題の 1 つであるナトリウム分が低いという利点がある(ナトリウムは石炭焚きボイラにおいてしばしばファウリングの原因となる)。

獲得鉱区の資源量は 4 億 5,000 万トン。発熱量は 4,780~4,850kcal/kg(NAR)。炭鉱から Westshore Terminal(バンクーバー南)まで鉄道で約 2,500km。

2012.7.2 Cloud Peak Energy プレスリリース他  
JCOAL 情報センター 富田 新二

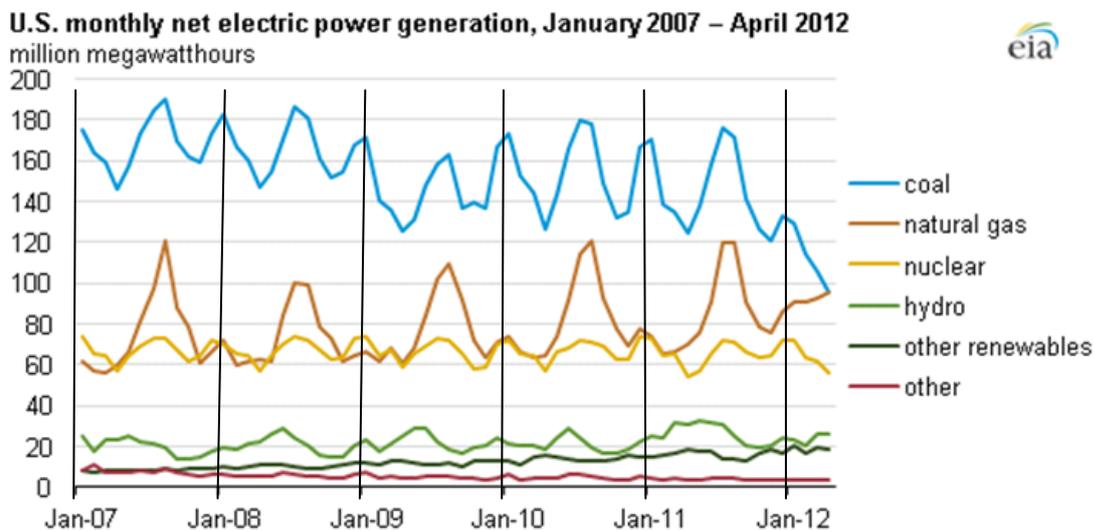
### ■米国の石炭火力発電量とガス火力発電量は今や同等

2012 年 7 月 6 日に EIA から発表された最新の米国発電データによると、2012 年 4 月の天然ガス火力の発電量は石炭火力による発電量と同じで、それぞれ全体の発電量の 32%ずつであった。具体的な数字は次の通りである。

天然ガス火力発電・・・9590 万 MWh

石炭火力発電・・・・・・9600 万 MWh

下図のように、2012 年にかけて石炭火力が急な減少傾向にあるが、ガス火力は逆に 2008 年からピーク発電量も含め、増加傾向になっている。



筆者注: 上図は 2007 年から 2012 年までの毎月の発電量を示している。石炭火力発電量がピークを迎えるのは毎年の年末年始と 8 月の 2 回で、ガス火力のピークは毎年 8 月となっている。年末年始はクリスマスシーズンであり、8 月は盛夏のための冷房需要などが多いものと推定される。

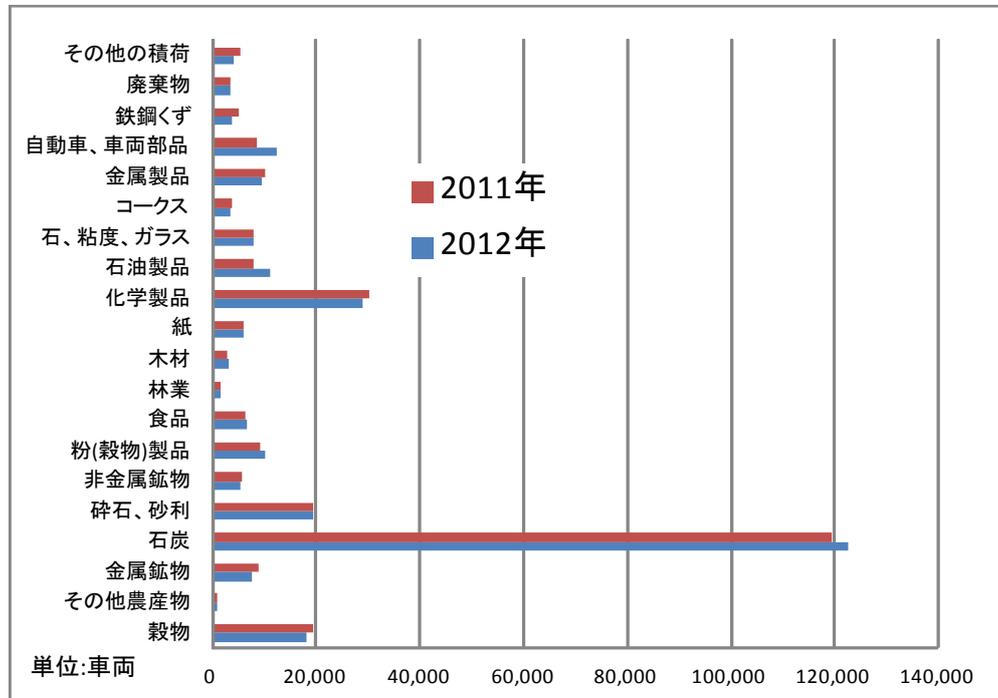
原子力発電は年間を通してほぼ一定、水力は雨期での発電量が多い。また再生可能エネは 2007 年から 2012 年と徐々に増加傾向である。

出典 IEA Clean Coal Center 13July 2012 よりの抜粋  
JCOAL 情報センター 牧野 啓二

■ 米国鉄道輸送統計 2012 年上半期

米国鉄道協会 (AAR) は 7 月 14 日、第 28 週 (上半期) 決算報告書を公表した。

<http://www.aar.org/AAR/NewsAndEvents/Freight-Rail-Traffic/2012/07/19-railtraffic.aspx>



グラフは米国の主要鉄道の貨物量を前年の上半期と比較したもので、石炭貨物の割合が全体の40%以上を占めている。しかし、米国の電力設備は石炭の需要が低下しており、今後は石炭の半額の輸送費で済むガスに切り替わりつつあるとの事。

Mining com, 2012 7 14 他 JCOAL 情報センター 岡本 法子

<<JCOAL からお知らせ>>

Asia-Pacific Partnership on Clean Development & Climate(APP)/東京工業大学共催 JCOAL 後援

**第 4 回酸素燃焼キャパシティービルディングコースのご案内**

APP 主催の酸素燃焼キャパシティービルディングは、第 1 回が韓国で開催されて以来、中国、豪州で開催され、第 4 回が H24 年 9 月 2（日）、3 日（月）に日本で開催されることになりました。会場は東京工業大学でございます。JCOAL では 9 月 4 日（水）、5 日（木）には 2012 クリーンコールデー石炭利用国際会議を開催いたしますが（詳しくは JCOAL ホームページをご参照ください）、本キャパビルコースはこの国際会議の前に開催し、本コースに参加された海外の方々も JCOAL 国際会議に出席していただこうとの思いもあります。

酸素燃焼キャパビルコースは、酸素燃焼技術について世界のプロジェクトをリードされている専門家の方々をお願いして最新技術についてご説明いただき、参加いただいた方々と密接な質疑応答をしていただこうとの主旨で開催されるものでございます。

今回は、酸素燃焼についての世界的権威で、本コースをリードしてきておられる豪州ニューキャッスル大学の Terry Wall 教授をはじめ、東工大の岡崎健教授による基調講演、ドイツから Stuttgart 大学の Joerg Maier 教授、東工大の渡部弘達教授、IEAGHG の Dr. Stanley Santos、豪州カライド酸素燃焼プロジェクトから Dr. Chris Spero、スペインの CIUDEN プロジェクトから Dr. Monica Lupion などの方々が講演され、最後にはこれらの方々によるパネルディスカッションも用意されております。

つきましては、本メールマガジン読者の皆様にはぜひご参加いただきたくご案内いたします。お申し込みは案内書に記載の通り、下記事務局ホームページに必要事項をご記入の上お願い申し上げます。多数のご参加を期待いたします。

なお、参加費は、初日のコースディナーも含め、無料でございます。

本コースに関する詳しい情報は：

<http://www.newcastle.edu.au/project/oxy-fuel-working-group/capacity-building-courses/Japanese-Course-2012.html>

お申し込みは

[OFWG@newcastle.edu.au](mailto:OFWG@newcastle.edu.au)

## 2012 グリーンコールデー石炭利用国際会議

9 月 4 日(火曜日) 9 月 5 日(水曜日)

お申込み受付開始しました

詳しくは特設ページをご覧ください

<https://www.brain-c-jcoal.info/ccd2012/index.html>

\*\*\*\*\*

## 『若手社会人向け海外炭鉱研修』のご案内

JCOAL では若手社会人を対象に、海外の炭鉱現場、石炭利用現場を学ぶ場として海外炭鉱研修を企画いたしました。石炭の採掘現場視察の絶好の機会であり、業務の推進に役立つものと確信しております。

詳しくは JCOAL ホームページ (<http://www.jcoal.or.jp/intern/index.html>) の募集案内をご覧ください。

研修日：平成 24 年 10 月 1 日(月)～10 月 5 日(金) 現地集合・解散

訪問国：アメリカ、カナダ

定員：若干名(最大 6 名)

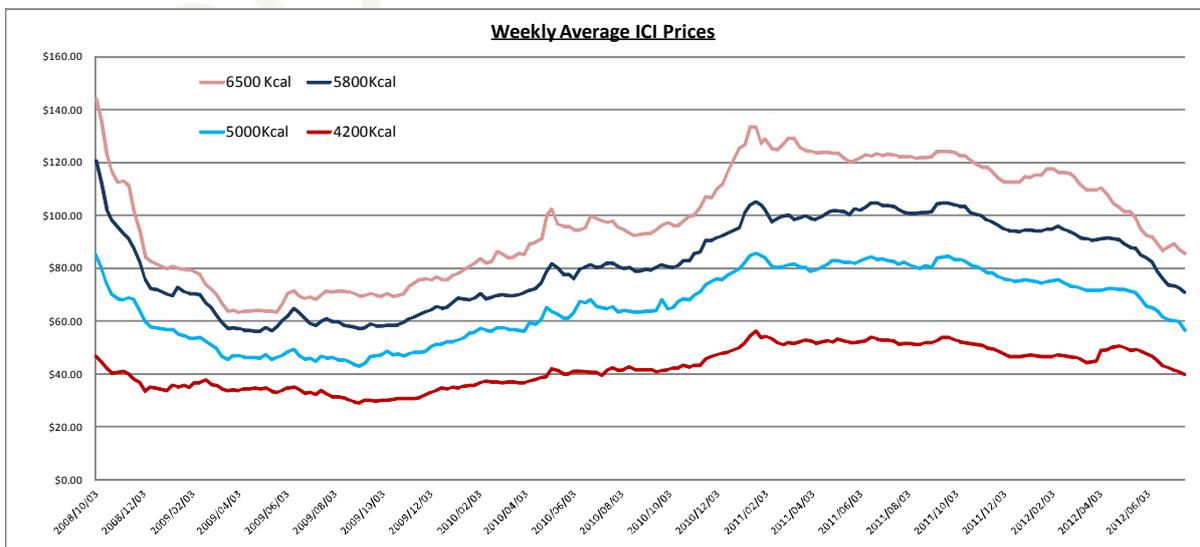
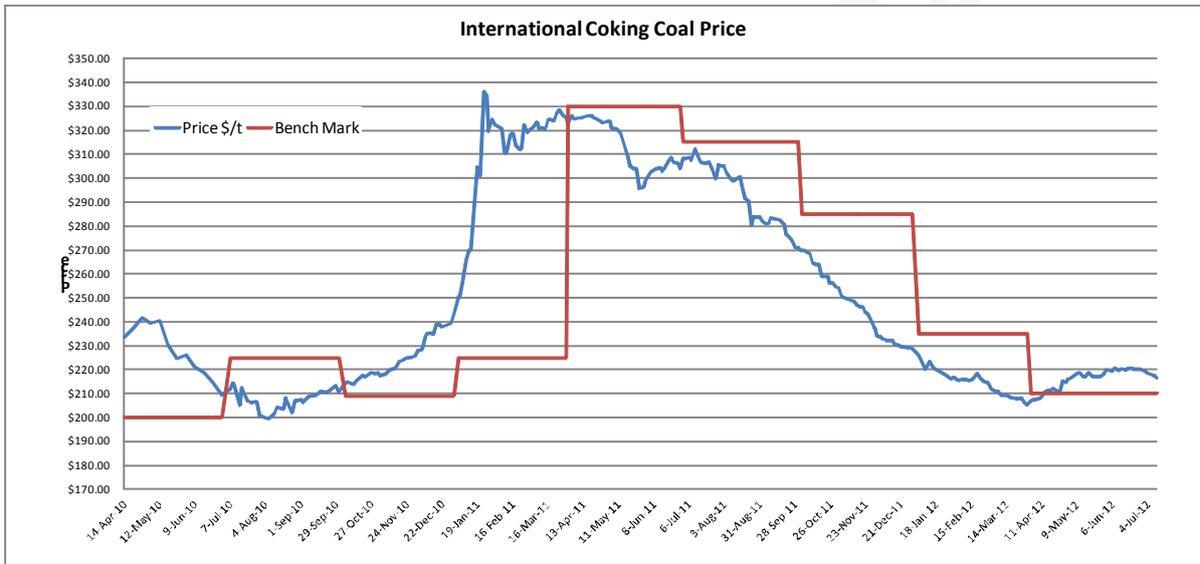
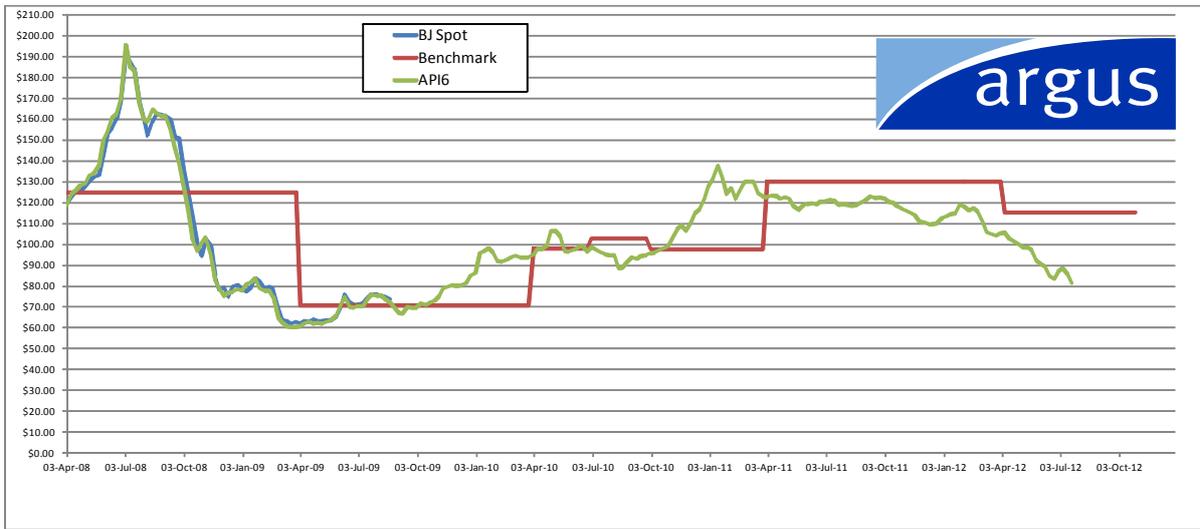
訪問予定先：坑内掘炭鉱、露天掘炭鉱、港湾施設等

連絡先：一般財団法人 石炭エネルギーセンター 国際部 田中、斉藤

Tel：03-6402-6106

E-mail：[internship@jcoal.or.jp](mailto:internship@jcoal.or.jp)

**【API INDEX ICI INDEX】**



---

【石炭関連国際会議情報】

**34th international symposium on combustion**

Warsaw, Poland, 29/07/2012 - 03/08/2012  
Email: [combustion2012@itc.pw.edu.pl](mailto:combustion2012@itc.pw.edu.pl)  
Internet: [www.combustion2012.itc.pw.edu.pl](http://www.combustion2012.itc.pw.edu.pl)

**Coal seam methane world 2012**

Brisbane, Qld, Australia, 31/07/2012 - 02/08/2012  
Email: [emma.deacon@terrapinn.com](mailto:emma.deacon@terrapinn.com)  
Internet: [www.terrapinn.com/conference/coal-seam-methane/index.stm](http://www.terrapinn.com/conference/coal-seam-methane/index.stm)

**Coal-Gen conference**

Louisville, KY, USA, 15/08/2012 - 17/08/2012  
Email: [jenniferl@pennwell.com](mailto:jenniferl@pennwell.com)  
Internet: [www.coal-gen.com](http://www.coal-gen.com)

**8th Coaltrans Australia conference**

Brisbane, Qld, Australia, 20/08/2012 - 21/08/2012  
Email: [coaltrans@euromoneyplc.com](mailto:coaltrans@euromoneyplc.com)  
Internet: [www.coaltrans.com/EventDetails/0/4771/8th-Coaltrans-Australia.html](http://www.coaltrans.com/EventDetails/0/4771/8th-Coaltrans-Australia.html)

**Power plant air pollutant control 'MEGA' symposium**

Baltimore, MD, USA, 20/08/2012 - 23/08/2012  
Email: [chartz@awma.org](mailto:chartz@awma.org)  
Internet: [megasympoium.org](http://megasympoium.org)

**2nd underground coal gasification workshop**

Banff, AB, Canada, 22/08/2012 - 23/08/2012  
Email: [john.kessels@iea-coal.org.uk](mailto:john.kessels@iea-coal.org.uk)  
Internet: [ucg.coalconferences.org](http://ucg.coalconferences.org)

**4th annual coal seam gas (CSG) associated water conference**

Brisbane, Qld, Australia, 28/08/2012 - 29/08/2012  
Email: [info@iir.com.au](mailto:info@iir.com.au)  
Internet: [www.iir.com.au/conferences/mining-resources/oil-gas/csg-associated-water-conference](http://www.iir.com.au/conferences/mining-resources/oil-gas/csg-associated-water-conference)

**McCloskey China coal import and export forum & Asia-Pacific coal summit 2012**

Beijing, China, 04/09/2012 - 05/09/2012  
Email: [emea\\_marketing@ihs.com](mailto:emea_marketing@ihs.com)  
Internet: [conf.mccloskeycoal.com](http://conf.mccloskeycoal.com)

**Kalimantan coal conference**

Balikpapan, Indonesia, 04/09/2012 - 05/09/2012  
Email: [AnnNa.Lee@ibcasia.com.sg](mailto:AnnNa.Lee@ibcasia.com.sg)  
Internet: [www.immevents.com/international-mining-events/kalimantan-coal-conference](http://www.immevents.com/international-mining-events/kalimantan-coal-conference)

**Coal mining methane abatement seminar and Global Methane Initiative Subcommittee meeting**

Sydney, NSW, Australia, 04/09/2012 - 06/09/2012  
Email: [meetings@tmm.com.au](mailto:meetings@tmm.com.au)  
Internet: [www.tmm.com.au/whats-coming-up/details/73-GMI2012.html](http://www.tmm.com.au/whats-coming-up/details/73-GMI2012.html)

**10th China international coking technology and coke market congress**

Beijing, China, 05/09/2012 - 07/09/2012  
Email: [chiu@mc-ccpit.com](mailto:chiu@mc-ccpit.com)  
Internet: [www.coke-china.com/en/index.asp](http://www.coke-china.com/en/index.asp)

**9th European conference on coal research and its applications: ECCRIA 2012**

Nottingham, UK, 10/09/2012 - 12/09/2012  
Internet: [9.eccria.org](http://9.eccria.org)

---

**2nd Coaltrans financing & investing in coal meeting**

Jakarta, Indonesia, 11/09/2012 - 12/09/2012

Email: [coaltrans@euromoneyplc.com](mailto:coaltrans@euromoneyplc.com)

Internet: [www.coaltrans.com/EventDetails/14371/4800/2nd-Coaltrans-Financing-Investing-in-Coal.html](http://www.coaltrans.com/EventDetails/14371/4800/2nd-Coaltrans-Financing-Investing-in-Coal.html)

**3rd Coaltrans Colombia conference**

Bogota, Colombia, 11/09/2012 - 12/09/2012

Email: [coaltrans@euromoneyplc.com](mailto:coaltrans@euromoneyplc.com)

Internet: [www.coaltrans.com/EventDetails/0/4772/3rd-Coaltrans-Colombia.html](http://www.coaltrans.com/EventDetails/0/4772/3rd-Coaltrans-Colombia.html)

**Underground coal operations conference**

Brisbane, Qld, Australia, 17/09/2012 - 19/09/2012

Email: [info@resourcefulevents.com](mailto:info@resourcefulevents.com)

Internet: [www.undergroundcoal.com](http://www.undergroundcoal.com)

**Workshop on advanced USC coal-fired power plants**

Vienna, Austria, 19/09/2012 - 20/09/2012

Email: [Geoff.Morrison@iea-coal.org](mailto:Geoff.Morrison@iea-coal.org)

Internet: [ausc.coalconferences.org/ibis/ausc.coalconferences/home](http://ausc.coalconferences.org/ibis/ausc.coalconferences/home)

**U.S. coal mine methane conference**

Las Vegas, NV, USA, 24/09/2012 - 24/09/2012

Email: [meetings@erg.com](mailto:meetings@erg.com)

Internet: [www.epa.gov/cmop/conf/cmm\\_conference\\_sept12.html](http://www.epa.gov/cmop/conf/cmm_conference_sept12.html)

**BIT's 1st annual international symposium of clean coal technology**

Taiyuan, China, 24/09/2012 - 26/09/2012

Email: [mona@bitlifesciences.com](mailto:mona@bitlifesciences.com)

Internet: [www.bitcongress.com/cct2012](http://www.bitcongress.com/cct2012)

**EuroCoalAsh conference**

Thessaloniki, Greece, 25/09/2012 - 27/09/2012

Email: [info@evipar.org](mailto:info@evipar.org)

Internet: [www.eurocoalash.org](http://www.eurocoalash.org)

**McCloskey Indian coal markets conference 2012**

New Delhi, India, 25/09/2012 - 26/09/2012

Email: [emea\\_marketing@ihs.com](mailto:emea_marketing@ihs.com)

Internet: [conf.mccloskeycoal.com](http://conf.mccloskeycoal.com)

**Power-gen Asia conference and exhibition**

Bangkok, Thailand, 03/10/2012 - 05/10/2012

Email: [paperspga@pennwell.com](mailto:paperspga@pennwell.com)

Internet: [www.powergenasia.com](http://www.powergenasia.com)

**Power plants 2012 conference and exhibition**

Mannheim, Germany, 10/10/2012 - 12/10/2012

Email: [marthe.molz@vgb.org](mailto:marthe.molz@vgb.org)

Internet: [www.vgb.org/en/hv\\_2012.html](http://www.vgb.org/en/hv_2012.html)

**All-energy Australia 2012 conference and exhibition**

Melbourne, Vic, Australia, 10/10/2012 - 11/10/2012

Email: [info@all-energy.com.au](mailto:info@all-energy.com.au)

Internet: [www.all-energy.com.au](http://www.all-energy.com.au)

**Australia Japan coal conference (AJCC) 2012**

Sydney, NSW, Australia, 11/10/2012 - 12/10/2012

Internet: [www.tmm.com.au](http://www.tmm.com.au)

**32nd Coaltrans world coal conference**

Istanbul, Turkey, 14/10/2012 - 16/10/2012

Email: [coaltrans@euromoneyplc.com](mailto:coaltrans@euromoneyplc.com)

Internet: [www.coaltrans.com/EventDetails/0/4835/32nd-Coaltrans-World-Coal-Conference-Istanbul.html](http://www.coaltrans.com/EventDetails/0/4835/32nd-Coaltrans-World-Coal-Conference-Istanbul.html)

---

**29th annual international Pittsburgh coal conference**

Pittsburgh, PA, USA, 15/10/2012 - 18/10/2012

Email: [ipcc@pitt.edu](mailto:ipcc@pitt.edu)

Internet: [www.engineering.pitt.edu/pcc](http://www.engineering.pitt.edu/pcc)

**Power-gen Africa conference and exhibition**

Johannesburg, South Africa, 06/11/2012 - 08/11/2012

Email: [SamanthaM@pennwell.com](mailto:SamanthaM@pennwell.com)

Internet: [www.powergenafrika.com](http://www.powergenafrika.com)

**Coal handling and storage conference and exhibition**

St Louis, MO, USA, 16/10/2012 - 18/10/2012

Email: [djohnson@mining-media.com](mailto:djohnson@mining-media.com)

Internet: [www.coalhandlingshow.com](http://www.coalhandlingshow.com)

**2012 national CCS conference**

Perth, WA, Australia, 21/10/2012 - 23/10/2012

Email: [conference@conlog.com.au](mailto:conference@conlog.com.au)

Internet: [www.nationalccs.com.au](http://www.nationalccs.com.au)

**World energy forum 2012**

Dubai, United Arab Emirates, 22/10/2012 - 24/10/2012

Email: [amohammed@wef21.org](mailto:amohammed@wef21.org)

Internet: [www.worldenergyforum2012.org](http://www.worldenergyforum2012.org)

**World clean coal week, China focus 2012**

Beijing, China, 05/11/2012 - 08/11/2012

Email: [info@szwgroup.com](mailto:info@szwgroup.com)

Internet: [www.szwgroup.com/wccwchina2012/](http://www.szwgroup.com/wccwchina2012/)

**Galilee Basin coal & energy conference**

Brisbane, Qld, Australia, 12/11/2012 - 13/11/2012

Email: [info@informa.com.au](mailto:info@informa.com.au)

Internet: [www.training-conferences.com.au](http://www.training-conferences.com.au)

**17th Southern African conference: clean coal to clean energy Indaba 2012**

Johannesburg, South Africa, 13/11/2012 - 14/11/2012

Email: [robbie@rca.co.za](mailto:robbie@rca.co.za)

Internet: [www.fossilfuel.co.za](http://www.fossilfuel.co.za)

**Ad Hoc Group of Experts on coal mine methane**

Geneva, Switzerland, 19/11/2012 - 20/11/2012

Email: [clean.electricity@unece.org](mailto:clean.electricity@unece.org)

Internet: [www.unece.org](http://www.unece.org)

**2nd Coaltrans Mozambique conference**

Maputo, Mozambique, 20/11/2012 - 21/11/2012

Email: [coaltrans@euromoneyplc.com](mailto:coaltrans@euromoneyplc.com)

Internet: [www.coaltrans.com/EventDetails/0/4878/2nd-Coaltrans-Mozambique.html](http://www.coaltrans.com/EventDetails/0/4878/2nd-Coaltrans-Mozambique.html)

**Ad Hoc Group of Experts on cleaner electricity production from coal and other fossil fuels**

Geneva, Switzerland, 27/11/2012 - 28/11/2012

Email: [sead.vilogorac@unece.org](mailto:sead.vilogorac@unece.org)

Internet: [www.unece.org](http://www.unece.org)

**Coal trading conference**

New York City, NY, USA, 03/12/2012 - 04/12/2012

Email: [info@americancoalcouncil.org](mailto:info@americancoalcouncil.org)

Internet: [www.accevents.org](http://www.accevents.org)

**IHS McCloskey Asia Pacific coal outlook conference 2012**

Bali, Indonesia, 05/12/2012 - 06/12/2012

Email: [emea\\_marketing@ihs.com](mailto:emea_marketing@ihs.com)

Internet: [www.mccloskeycoal.com/conferences](http://www.mccloskeycoal.com/conferences)

---

**2013 Longwall USA exhibition and conference**

Pittsburgh, PA, USA, 11/06/2013 - 13/06/2013

Email: [tholzer@mining-media.com](mailto:tholzer@mining-media.com)

Internet: [www.mining-media.com/index.php/events/longwall.html](http://www.mining-media.com/index.php/events/longwall.html)

**6th European combustion meeting: ECM2013**

Lund, Sweden, 25/06/2013 - 28/06/2013

Email: [alexander.konnov@forbrf.lth.se](mailto:alexander.konnov@forbrf.lth.se)

Internet: [www.ecm2013.lth.se](http://www.ecm2013.lth.se)

**17th international coal preparation congress**

Istanbul, Turkey, 01/10/2013 - 06/10/2013

Email: [koray@icpc2013.com](mailto:koray@icpc2013.com)

Internet: [www.icpc2013.com/en/](http://www.icpc2013.com/en/)

JCOAL Magazine

※編集者から※

メールマガジン第 102 号の発行と今後の予定について

7 月から本格的に節電が始まっています。一昨年まではこの時期、夏休みに入り皆様もイベントが多くなる頃でしょうが、今年は原発再稼働問題で全国的に大幅な節電が余儀なくされていますので、これからの暑さも程々にしていただくように思金神(おもいかねのかみ、天気的神様)に祈りたい気分です。

さて本号では、中国、米国、インド、インドネシア、ベトナム等多地域にわたる情報、酸素燃焼、CCS 等技術情報を掲載しております。石炭のみならずエネルギー全体を取り巻く環境が変化している中、今後も石炭を中心に上下流両方面から少しでも皆様のお役に立てるよう情報収集していきたいと思いません。

JCOAL では、石炭関連の最新情報を受発信していくこととしておりますが、情報内容をより充実させるため、皆様からのご意見、ご要望及び情報提供をお待ちしております。

次の JCOAL マガジン(103 号)は、2012 年 8 月上旬の発行を予定しております。

(編集子)

本号に掲載した記事内容は執筆者の個人見解に基づき編集したものであり JCOAL の組織見解を示すものではありません。

また、掲載した情報の正確性の確認と採否については皆様の責任と判断でお願いします。情報利用により不利益を被る事態が生じたとしても JCOAL ではその責任を負いません。

お問い合わせ並びに情報提供・プレスリリースは [jcoal\\_magazine@jcoal.or.jp](mailto:jcoal_magazine@jcoal.or.jp) お願いします。

登録名、宛先変更や配信停止の場合も、[jcoal\\_magazine@jcoal.or.jp](mailto:jcoal_magazine@jcoal.or.jp) 宛ご連絡いただきますようお願いいたします。

JCOAL メールマガジンのバックナンバーは、JCOAL ホームページにてご覧頂けます。

<http://www.jcoal.or.jp/publication/jcoalmagazine/jcoalmagazine.html>